

産業で地域を活性化し、新たな交流を生み出そう！

住民の方々が講師となり、地域資源を活用したなりわいを創出して、地域の活性化に取り組んでいる活動を紹介いたします！

金沢漆塗り講習会 ～金沢地域復興協議会～

地域資源を活用した工芸品の制作を通じた地域魅力化、コミュニティ活性化を図るため、金沢漆塗り講習会が開催されました。今回は初級編ということで、漆を重ね塗りしてある箸を研ぎ、オリジナルの模様を出す技法に挑戦しました。いずれは金沢地区で漆の木を栽培し、地域の特産品にしたいということです。京都から金沢に嫁いできた漆工芸作家で、講師を務めた谷藤怜美さんは、「人に教えるのは初めてでしたが、地域の方々が笑顔で温かく受け入れてくれて安心しました。今後も漆を通じて、金沢地区の活動を盛り上げていきたいです。」と話していました。



金沢地域復興協議会：0193-55-6870 (代)

森林教室 ～特定非営利活動法人吉里吉里国～

自伐型林業という新たななりわいを振興し、自然と共存した林業技術の普及や担い手の育成を図るため、森林教室が開催されました。この日は森林インストラクターの藤原勝志さんが講師となって、吉里吉里学園5年生児童と里山を歩きながら樹木の冬芽や野生動物の痕跡観察を行ったり、馬と林業との関わり等について学びました。講師の藤原さんは「ふるさとの里山の植物や動物のことを知ると、日々の生活が楽しくなるといいます。森を歩くとリフレッシュできることを、町民の方々に伝えていきたいです。」と話していました。



特定非営利活動法人吉里吉里国：0193-43-1018

コミュニティ総合支援室 総合支援企画班 Tel 0193-42-8718



1月30日 大槌町復興推進隊報告会

震災からの復興に向け産業振興や地域コミュニティの再構築など平成27年から町の委嘱を受け活動を展開してきた大槌町復興推進隊が、令和2年3月末をもって活動を終了し、これまでの活動を報告する場として、「大槌町復興推進隊からありがとうを伝える会」が、1月30日(木)午後6時から「大槌町文化交流センター おしゃっち」で行われました。

ありがとうを伝える会では、各隊員からこれまでの取り組みや成果が報告されたほか、閉会後には関係者との懇親の場が設けられ、活動に対する感謝の気持ちを伝えていました。



2月16日 おおつちバラエティーショー開催

2月16日(日)、文化交流センターおしゃっちで「おおつちバラエティーショー」が開催されました。5回目を迎える今年の演劇は「希望の駅。～同じ田舎に生まれた若者たち～」と題した田舎に住む男子高校生カケルの恋愛と成長の物語。脚本から演出、演技まで有志メンバー14名で作りました。

メンバーの進学などもあり現体制で行う最後の演目となりましたが、役者たちの熱演は観客に笑いと感動を与え喝采を受けていました。



2月22日 柎内集会所落成式

2月22日(土)、柎内地区集会所に完成に伴い落成式が開催されました。町は東日本大震災以降、新たなコミュニティ形成支援の一環として、各地区で集会所の整備を進めており、柎内集会所で5カ所目となります。柎内地区では、災害公営住宅の整備や個人住宅の再建により世帯数が急増しコミュニティ形成の場が急務となっていました。

式には、町長や町議会議員をはじめ多くの方が参加し、中須賀大神楽による演舞や地域の方々による手料理が振舞われるなど大いに盛り上がりました。式の中で柎内地区自治会を務める荒澤一夫さんは「この集会所の完成に関わったすべての人に感謝します。これから地域に根付き愛される集会所になってほしい」と話しました。



東京オリンピック・パラリンピック2020 ～復興ありがとうホストタウン～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において台湾を相手国とする「復興ありがとうホストタウン」として登録されている岩手県大槌町、野田村、福島県南相馬市及び北塩原村が連携し、台湾で2020年1月31日から2月4日までの期間開催された2020台北国際動漫節の日本ブースに出展し、来場者約40万人の方々に復興支援の感謝とホストタウン活動をPRし、本競技大会で大槌町が台湾を応援することを伝えてまいりました。

また、御支援いただいた台湾赤十字や台湾仏教慈濟会を訪問し、復興支援の感謝と復興ありがとうホストタウンの報告を行いました。台湾オリンピック協会、台湾パラリンピック協会、台湾バドミントン協会及び台湾卓球協会に訪問し、復興ありがとうホストタウン連携のお願いをしておりました。



台北市のイベントで大槌町をPR



右：中華台北オリンピック委員会 孫顧問
左：岡本産業振興課長